

平成27年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市星川地域ケアプラザ

2 事業報告

地域の現状と課題について

星川地域ケアプラザのエリア内中心には相鉄線が走り、星川駅・天王町駅がある他、幹線道路の国道16号線があるためバスの本数も多く、利便性に優れています。区役所や図書館、保育所、福祉関連施設などが多く集まっています。松原商店街やイオン、コーナン、いなげやなど買い物をする場所も充実しており、暮らしやすい地域です。エリア内には介護サービス事業所が数多くあり、介護が必要になった際もスムーズな利用につながりました。

一方で、国道16号線があるため交通量が多く、子育て世代には不安要素の一つと言えます。又、勾配の急な山坂のある地域は、特に高齢者にとって移動が困難となっています。天王町駅周辺では、帷子川の水害の発生が危惧されており、大雨や地震に伴う津波などの際には、高齢者などの災害弱者の速やかな避難が課題となりました。

自治会・町内会館のような地域の活動拠点は、畳部屋や階段のある構造となっており、足腰が弱ると参加しにくくなります。

【中央連合町内会】

ア. 川辺町は戸建てが少なくマンション世帯が多い地域です。若い層が多く、高齢化率も中央地区で最も低い17.5%です。自治会組織の無いマンションが数か所あり、全体の自治会加入率が低くなっています。

特に市営川辺町住宅は高齢者の転入も多く高齢化率は高いが、老人クラブがない状況となっています。また、定期的に集まる場もない状況があり、孤独死の防止や見守りネットワークの構築を課題と捉え、自治会長や民生委員と居場所作りに向けた検討をしました。

イ. 峰岡町一～二丁目、宮田町の坂の上方面は、車両が入り込めないような道幅の狭い箇所が多数あります。坂の中腹のエリアの高齢者は階段昇降が必須にて、足腰が弱ると外出が困難となるため、自宅に近い自治会町内会館などを会場に講座を開催しました。

ウ. 宮田町は生活圏が横浜駅方面へ向いており、ケアプラザまで徒歩10分以上かかる状況があります。その為、ケアプラザ事業参加に結びついていません。又、高齢化率が高く山坂も多いことで高齢者にとって、足を運びやすい自治会町内会館での催しが少ない状況です。そのため、自治会町内会役員や老人クラブ役員と相談し、地域の事業に職員が参加することで顔の見える関係作りを努めました。

エ. 天王町団地は外国籍の住民が多く、集いの場が少ないため、住民同士のコミュニケーションがとりづらい状況です。過去には孤独死もあり住民同士のつながりや支えあいの必要性を感じており、自助・互助の仕組みづくりを検討しましたが、事業に結びつくような活動ができなかったため、引き続き次年度の課題とします。

オ. 地域と共に第3期福祉保健計画の目標である、笑顔で声を掛け合い、心通い合う活気あふれる安全で安心な街を推進していくことが必要だと考え、できる限り、地域行事やお祭りに参加しました。

【岩間地区連合町内会（星川地区）】

ア. 星川一丁目は防災意識が高く、緊急連絡先や要援護者世帯の支援体制を整備する等の自治会活動が盛んです。毎月定期的で開催している、「ひまわりの会」は参加者の高齢化が進んでいますので、課題となる介護予防や権利擁護などの講座を共催ですすめました。

イ. 星川二丁目は高齢者に限らず住民が集える場が少ないので、民生委員がサロンの

開催など居場所づくりを必要と考えており、次年度の開催に向けて話し合いを重ね、形作りをすすめました。

ウ. 星川三丁目は民生委員が主体となり、住民が集える居場所作りを進めサロンが立ち上がりました。定期開催や参加者定着に課題があるため、職員が参加し、住民が関心を高め参加率が上がるように体操指導や講座の開催に協力しました。

エ. 明神台地区は戸建てが少なく市営住宅とUR住宅が立ち並んでいます。

勾配の急な坂の上にある為、足腰が弱ると高齢者は外出が困難な状況です。「サロンひだまり」の定期開催により、住民同士の交流が図られるようになりました。担い手が高齢化する中で、市営住宅とUR住宅の連携による新たな担い手の育成が求められているため、シニアボランティア登録説明会を行い、地域事業の案内や担い手の発掘に努めました。

オ. 「地域で支えあう仕組みづくり」を目指しており、見守りツールを活用した認知症の方や高齢者などを支える見守り活動への取り組みを計画しました。次年度も引き続き取り組みをすすめます。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

(ア)複合施設のため地域の様々な方が利用されるので、安全確保と設備の正常作動を最優先として管理に努めるとともに、館内の清潔保持に努めました。

(イ)設備の保守点検については、専門業者に委託し不具合の早期発見に努め、適切な修繕を行うことで事故防止に努めました。不具合が発見された際には、保土ヶ谷区役所と館内の4事業所で行う連絡会で検討し、優先順位を考慮のうえ改善を図りました。

(ウ)年10回区内の授産施設による、植栽管理と草取り、周囲の清掃を実施し、環境保全と緑化に努めました。

(エ)貸室の清掃については、使用後に利用団体が清掃を行い、その後の点検を職員が行いました。また、貸室を含め所内を毎日委託業者が清掃し、ケアプラザ職員が現場を目視し、作業終了報告書を確認しました。合わせて毎月、専門業者による全館定期清掃を実施しました。

イ 効率的な運営への取組について

(ア)労務、経理等の事務処理に関して、効率よく行えるよう法人本部と連携し、業務や役割の分担を図りました。

(イ)省エネに関しては、不要な照明はこまめに消し、長時間離席する際には、パソコンの電源をオフにすることを徹底しました。また、空調の設定温度は適正な温度を心がけました。

ウ 苦情受付体制について

(ア)法人で苦情解決規則を定めており、それに基づきケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置し、お客様からのご意見、ご要望、また苦情等に対応しました。

(イ)お客様が苦情やご意見を述べやすいように、ご意見ダイヤルの利用方法と指定管理者名及び指定管理期間を併せて掲示し情報提供しました。また、ご意見を入れやすいように、2階通路にご意見箱を設置しました。年末には、各事業についてのアンケート調査も実施し、結果については館内掲示をするとともに主だったものを広報紙に掲載して周知しました。

(ウ)法人では公正・中立な立場からあつせん、調整を行う第三者委員を設置し、適切な苦情解決に向けた体制を整備し、取り組みを行いました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

(ア)地震、火災等の災害時の備えとして、法人で作成した非常災害・事故緊急時対応・再発防止マニュアルや、災害時の業務継続計画のためのBCPを見直し、更新しました。

(イ)かるがも全館で行う年2回の防災訓練を通し、緊急時に各施設職員がマニュアルに沿った対応ができるよう、災害時に備えました。

(ウ)急病時には看護職員を中心として適切に対応できるようにAEDを設置しました。消防職員による指導で、全職員対象にAEDの操作方法を含む救命救急研修を実施しました。

(エ)特別避難場所であることを地域に周知するとともに、地域防災拠点では避難生活を送ることが困難な高齢者などの避難場所として、応急備蓄物資や防災対策マニュアルを整備しました。

オ 事故防止への取組について

(ア)介護サービスの提供中に起こったヒヤリハットを全体会議や朝夕のミーティングの場において報告し、職場内で注意喚起しながら事故防止に努めました。

(イ)所内での全体会議などにおいても、法人内のサービス向上課から発信される注意喚起を回覧し共有するなど、法人内の他事業所での事故事例の検討も実施しました。

事故防止マニュアルの活用など、職場における危機管理の意識を高めるための研修を行いました。

(ウ)毎月、産業医出席のもと衛生委員会を開催し、労働環境のヒヤリハットや事故事例を検討し、事業ごとの会議でも事例研修を行いました。

(エ)労働災害防止のためのコンサルティングを実施し、過去の事故事例を検証し対策を検討しました。

(オ)デイサービス送迎車両にドライブレコーダーを取り付け、事故時を検証して対策を検討し、安全運転を心がけました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

(ア)法人では個人情報保護規程を定めており、ケアプラザでは個人情報の管理に関する担当者、責任者を決めました。法人本部で実施される個人情報保護、情報セキュリティ研修を職員が受講するとともに、所内でも個人情報保護研修を行い、啓発に努めました。

(イ)個人情報の取り扱いとして、契約書、記録類などは施錠できるロッカーなどで保管し、どうしても携帯する必要がある場合には、紛失や情報漏えいのないよう最小限の情報のみを、法人指定のカバンに入れて斜めがけし、携帯することを徹底しました。

(ウ)書類の封入時のダブルチェックやファクスで送る場合のマスキング、短縮ダイヤルの設定、ダブルチェックなどを徹底するよう職員に周知徹底を図りました。

(エ)業務用携帯電話は、暗証番号でダイヤルロックし、端末を万が一紛失した場合にも保存内容を遠隔操作で消去できるよう契約しました。

キ 情報公開への取組について

(ア)地域ケアプラザにおいて情報開示の請求があった場合には、法人で定めた情報公開規程に則り、積極的に情報を公開する体制を整えました。

(イ)ホームページを活用して、各所事業に関する情報や貸し部屋の空き情報などを幅広く市民の方々に提供しました。

ク 環境等への配慮及び取組について

(ア)省エネルギー対策、ごみの減量化など良好な環境の維持のために、節電、節水をこまめに行い、コピー用紙の裏面使用を励行し、また資源ごみの分別収集に協力しました。また、植栽の管理等を通して、環境保全にも協力しました。

(イ)電力消費がピークとなる夏季には「適正冷房・軽装勤務」の実行、不要な照明の消灯、使用していない事務用機器の電源を落とすなど、地球温暖化防止にも心がけました。

介護保険事業

◆介護予防支援事業

職員体制	
社会福祉士	1名
主任ケアマネジャー	1名
保健師	1名
介護支援専門員	3名

目標に対する取組状況
お客様の選択権を十分に尊重し、自立支援にむけて安心と信頼をもたれるケアプランを作成しました。

実費負担（徴収した場合は項目ごとに記載）
通常のサービス地域をこえる地域に訪問・出張する場合の交通費（実費）についての徴収はありませんでした。

その他（特徴的な取組、PR等）
関係機関と連携をとりながら、必要に応じてインフォーマルサービスなども取り入れ迅速に、かつ適切なケアプラン作成を行いました。

利用者実績（単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
183	187	183	185	181	184
10月	11月	12月	1月	2月	3月
183	189	196	196	186	189

◆居宅介護支援事業

職員体制		
介護支援専門員	常勤兼務	1名
	常勤専従	2名
(管理者・主任介護支援専門員)		
(平成27年3月末現在)		

目標に対する取組状況
<p>ア. 適正な保健医療サービス及び福祉サービスが、総合的かつ効果的に提供されるように、公正中立な立場に立って居宅サービス計画を作成するとともに、サービス事業所の調整を行いました。</p> <p>イ. 事業の実施に当たっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等と綿密な連携を図り、総合的なサービス調整に努めました。</p> <p>ウ. 居宅サービス計画の作成にあたっては、お客様の心身の状況や置かれている環境に応じて自立した日常生活を営むことができるよう支援しました。</p>

実費負担（徴収した場合は項目ごとに記載）
通常のサービス提供地域を越える訪問、出張する必要がある場合には、公共交通機関を利用し、その運賃分をいただきました。

その他（特徴的な取組、PR等）
<p>ア. 地域ケアプラザ内のケアマネステーションとしての利点を生かし、福祉総合相談窓口との連携で、エリア内の関係機関とのネットワーク構築、多職種協働しての対応を目指し、地域に根差した身近でかつ信頼される事業所となるよう努めました。</p> <p>イ. 福祉総合相談窓口からの依頼があったときには、住み慣れた地域で暮らしていけるように、迅速な対応に努めました。</p> <p>ウ. 特定事業所として、研修等に積極的に参加し、質の高いサービスが提供できるように努めました。</p> <p>エ. 特定事業所として24時間相談体制をとり、お客様の相談に随時対応できるようにしました。</p>

利用者実績（単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
134	131	130	131	129	126
10月	11月	12月	1月	2月	3月
109	110	107	107	108	112

◆通所介護事業

提供したサービス内容

(ア)お客様が出来るだけその居宅において社会的孤立感を感じることなく自立した日常生活を営めるよう、又、ご家族の精神的・身体的負担を解消する為に、生活機能の維持・向上を目指し、入浴・排泄・食事等日常生活の介護及び機能訓練を行いました。
 (イ)事業の実施にあたり、関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス事業者・ボランティア団体との連携を図り、お客様やご家族に対し、安心して安全な、社会交流の場となるようなサービスの提供に努めました。

実費負担（徴収した項目ごとに記載）

○ 1割負担分	
(要介護1)	704円
(要介護2)	831円
(要介護3)	963円
(要介護4)	1,095円
(要介護5)	1,227円
○ 食費負担	700円
○ キャンセル料（食材料費等）	500円
○ サービス提供体制強化加算Ⅱ	7円
○ 介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	1ヶ月のご利用単位数の1000分の40に相当する単位数
○ 入浴介助	54円
○ 個別機能訓練Ⅱ	60円
○ 口腔機能向上	161円
○ おむつ代(大)	211円
○ (小)	183円
○ 介護職員処遇改善加算Ⅰ	1か月のご利用単位数の1000分の40に相当する単位数の料金
○ 若年性認知症受け入れ加算	65円
○ 送迎減算(片道)	-51円

事業実施日数、提供時間

○事業実施日数 週 6日 ○提供時間 9:30~16:30

職員体制

管理者	・・・常勤兼務	1名
生活相談員	・・・常勤兼務	3名
看護職員	・・・非常勤兼務	6名
介護職員	・・・常勤兼務	5名
	・・・非常勤兼務	22名
機能訓練指導員	・・・非常勤兼務	6名

目標に対する取組状況

(ア)お客様がご自宅で出来るだけお変わりなく過ごす事が出来るよう、自立支援を踏まえた通所介護計画書を基にしてサービスを提供しました。
(イ)ご希望の方に個別機能訓練Ⅱを実施し、筋力や体力・気力を維持し今の生活を続けていく事が出来るようにしました。
(ウ)レクリエーションを選択制にして、お好きなものやご興味のあるプログラムを選んで頂き、積極的に参加していただけるようにしました。
(エ)ご希望された方には口腔ケアを実施し口腔内の清潔を維持すると共に、定期的に口腔内の観察を行い、飲み込みの状態や口の動きが円滑になるように訓練を行うことにより嚥下状態の低下を防ぎました。

その他（特徴的な取組、PR等）

(ア)園芸やフラワーアレンジメント、絞り染め等ボランティアの講師による個別レクリエーションを実施し、野菜の栽培や収穫等日頃行う事が出来ない体験をして頂きました。
(イ)季節にちなんだメニューでお弁当やバイキング、ご当地メニューなど昼食やおやつも毎月工夫をして楽しんでお食事をして頂けるようにしました。
(ウ)勤続3年以上のスタッフを30%以上配置しています。
(エ)法令遵守と高い倫理観を身に着け、質の高いサービスを目指すため、研修を行っています。
(オ)家族会を年3回開催し、懇談会を通してご家族とのコミュニケーションを図りました。

利用者実績（延べ人数／単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
556	574	582	619	638	627
10月	11月	12月	1月	2月	3月
674	621	601	557	601	649

◆介護予防通所介護事業

提供したサービス内容

(ア)お客様が自立した日常生活を営むこと及びご家族の負担軽減を目標に、心身の特性を踏まえ、身体状況に応じて入浴・食事・排泄等の介護を行いました。
 (イ)事業の実施にあたり、関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス事業者・ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。

実費負担（徴収した項目ごとに記載）

○ 1割負担分	
(要支援 1)	1,766 円
(要支援 2)	3,621 円
○ 食費負担	700 円
○ キャンセル料(食材料費等)	500 円
○ サービス提供体制強化加算	(要支援 1) 26 円
	(要支援 2) 52 円
○ 介護職員処遇改善加算(I)	1ヶ月のご利用単位数の1000分の40に相当する単位数
○ 運動器機能向上	242 円
○ 口腔機能向上	161 円
○ 複数実施(I)	515 円
○ 若年性認知症受入	258 円
○ おむつ(大)	211 円
○ おむつ(小)	183 円

事業実施日数、提供時間

○事業実施日数 週 6日 ○提供時間 9:30~16:30

職員体制

管理者	・・・常勤兼務	1名
生活相談員	・・・常勤兼務	3名
看護職員	・・・非常勤兼務	6名
介護職員	・・・常勤兼務	5名
	・・・非常勤兼務	22名
機能訓練指導員	・・・非常勤兼務	6名

目標に対する取組状況

(ア)自立した生活が維持できるよう介護予防プランに基づき予防通所介護計画書を作成し、サービスを提供しました。
 (イ)ご希望の方に運動器機能向上訓練を実施し、現在の身体状況を維持・向上し元気に住み慣れた地域で生活をして頂けるように致しました。
 (ウ)季節の行事やご興味のあるレクリエーションを選んで参加して頂き、多くの方と楽しく交流する機会をつくりました。
 (エ)自立支援の考えかたや技術を習得し、日常生活に繋がる支援を行いました。

その他（特徴的な取組、PR等）

(ア)ボランティア講師による園芸やフラワーアレンジメント、個別レクリエーション、絞り染め等を実施し、野菜の栽培や収穫等日頃行う事が出来ない体験をして頂きました。

(イ)季節にちなんだメニューでお弁当やバイキング、ご当地メニューなど昼食やおやつを毎月工夫をして、楽しんでお食事をして頂きました。

(ウ)勤続3年以上のスタッフを30%以上配置しました。

(エ)法令遵守と高い倫理観を身に着け、質の高いサービスを目指すため、毎月研修を行いました。

(オ)年3回の家族会も開催し、懇談会を通してご家族とのコミュニケーションを図りました。

利用者実績（延べ人数／単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
95	93	99	104	84	102
10月	11月	12月	1月	2月	3月
101	96	89	90	76	99

◆認知症対応型通所介護事業

提供したサービス内容
(ア)認知症の方が地域で暮らしていく中で、今の状態を出来るだけ長く保ち、孤立しないで安心した生活が出来るように、またご家族の精神的・身体的負担を解消する為に必要な日常生活のお世話(入浴・排泄・食事)と機能訓練を提供しました。 (イ)事業の実施にあたり、関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス事業者・ボランティア団体との連携を図り、お客様やご家族に対し、安心・安全で、社会交流の場となるようなサービスの提供に努めました。

実費負担（徴収した項目ごとに記載）	
○ 1割負担分	
(要介護1)	1,072 円
(要介護2)	1,188 円
(要介護3)	1,305 円
(要介護4)	1,422 円
(要介護5)	1,539 円
○ 食費負担	700 円
○ 食事代キャンセル料	500 円
○ サービス提供体制強化加算 I イ	20 円
○ 介護職員処遇改善加算	1ヶ月のご利用単位数の1000分の68に相当する単位数
○ 個別機能訓練	30 円
○ 入浴介助	55 円
○ 若年性認知症受入	66 円
○ 送迎減算	-52 円

事業実施日数、提供時間			
○事業実施日数	週 6日	○提供時間	9:30~16:30

職員体制		
管理者	・・・常勤兼務	1名
生活相談員	・・・常勤兼務	3名
看護職員	・・・非常勤兼務	6名
介護職員	・・・常勤兼務	4名
	・・・非常勤兼務	12名
機能訓練指導員	・・・非常勤兼務	6名

目標に対する取組状況

- (ア)お客様が安心して落ち着いて過ごせるようお一人おひとりに合ったサービスを提供しました。
- (イ)お客様のその日の身体状況に応じて、お客様の意思や様子を確認しながらレクリエーションやその日のプログラムを実施しました。
- (ウ)お客様に落ち着いて過ごしていただけるよう、機能訓練・食事室の整備を行いました。
- (エ)希望者には口腔ケアを実施し、口腔内の清潔を維持すると共に定期的に口腔内の観察を行い、飲み込みの状態や口の動きが円滑になるよう訓練し、嚥下状態の低下を図りました。
- (オ)法令遵守と高い倫理観を身に着け、質の高いサービスを目指すため、月1回研修を行いました。
- (カ)年3回の家族会を開催し、懇談会を通してご家族とのコミュニケーションを図りました。

その他（特徴的な取組、PR等）

- (ア)頭の体操や手先を動かすキャップゲーム、壁画作成、折り紙、体を動かすゲームや体操等様々なプログラムを用意し、その日のお客様の希望や状態に合ったものに取り組みました。
- (イ)お客様が安心して過ごして頂けるようにきめ細かい対応と声掛けを行いました。
- (ウ)園芸やフラワーアレンジメント、絞り染め等ボランティアの講師による個別レクリエーションを実施し、野菜の栽培や収穫等日頃出来ない体験をしました。
- (エ)季節にちなんだメニューでお弁当やバイキング、ご当地メニューなど昼食やおやつを毎月工夫して楽しんでお食事をして頂けるようにしました。
- (オ)ご家族の対応が困難なお客様も可能な限り受け入れました。
- (カ)介護福祉士を50%以上配置し、お一人おひとりにあった介護を提供しました。

利用者実績（延べ人数／単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
219	221	212	253	255	250
10月	11月	12月	1月	2月	3月
275	237	250	232	231	216

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・子ども・障害分野への対応）

- ア. 昨年度整備した子育て障がいの相談票を様式8に基づき改訂し、相談ケースの4職種共有に努めています。また、窓口対応についても、ニーズの把握に努め、一歩進んだ情報提供ができるよう心がけています。
- イ. 四職種会議を毎月定例開催し、地域の各会議や盆踊りや運動会などに参加して得た情報を共有し、地域課題や現状の把握に努めています。今年度は、星川三丁目のサロン立ち上げに関わり、ケアプラザから遠いエリアである宮田町への出前も増やすことができました。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

- ア. 地区社協、民児協の会議、研修、地域行事等へ四職種で分担して、積極的に参加を行い情報収集に務め、地域アセスメントシートの作成を行いました。
- イ. 収集した情報を四職種会議にて共有し、地域アセスメントシートから見えた課題に対して、事業展開を実施しました。
- ウ. 認知症サポーター養成講座は、地域のキャラバンメイトと連携して開催することができました。参加者への啓発だけでなく、サポーターとしての活動の拡がりを目指し、1月に座談会を開催します。
また、福祉教育など学校との連携事業も地域のキャラバンメイトと連携し、小学生から高校生まで、啓発活動に努めています。

3 職員体制・育成

- ア. 相談受付担当とした窓口当番の職員を常時配置する事で、相談のために来館した方の対応をしました。
- イ. 法人本部のサービス向上課と連携し、コンプライアンスの遵守と個人情報等のリスクマネジメントを実施しました。
- ウ. 外部研修にも積極的に参加し、参加できなかった職員には伝達研修や報告書にての周知を行いました。

4 地域福祉のネットワーク構築

- ア. 地域福祉保健計画の策定、充実に向け、各地区に積極的に参加し、素案をまとめることができました。また、ケアプラザの子育て支援事業には積極的に主任児童委員に声をかけ、連携を進めています。
- イ. ほっしいーのわいわいフェスティバルでは、今年度もエリア子育て支援連絡会が参加し、昨年度の反省を生かし、より大勢の施設団体が参加して実施することができました。また、ケアプラザ広報紙「かるがも通信」へは、各団体の施設紹介だけでなく、子育て支援のメッセージ性を高めることができました。
- ウ. ほっとフレンズ実行委員会の一員として、8月に学齢障がい児の余暇支援事業を開催しました。2月に小規模エリアで1回、3月に全体で1回の計3回実施予定です。
- エ. 今年度は初めて保健活動推進員との連携を進め、ミニデイを1回実施することができました。ほっしいーのわいわいフェスティバルにも協力いただき、今後も地域の健康寿命増進に向けての取組を検討中です。
- オ. 地域のキャラバンメイトと連携し、積極的に認知症サポーター養成講座を開催しています。

5 区行政との協働

- ア. 岩間地区、中央地区に支援チームとして積極的に関わり、情報交換に努め、地域支援を行い、第3期地域福祉保健計画の素案を策定することができました。
- イ. こども家庭支援係と連携し、発達に心配のある子どもと保護者を対象とした新規事業を6月より立ち上げ月1回開催しました。区の紹介もあり、毎回新規の申し込みがあり、受け皿としての機能も果たしています。
- ウ. 認知症見守りネットワーク普及啓発媒体作成作業部会に参加をして、区内の認知症見守りネットワーク媒体作成が完成しました。
- エ. 「ひとり暮らし高齢者地域で見守り推進事業」における、民生委員との情報共有や連携を図りました。民生委員とケアマネの情報共有や連携が図れる場として、2月に包括レベル地域ケア会議を開催予定です。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ア. 地域の行事や会合に積極的に参加して得た情報を地域アセスメントシートに反映し、随時更新作業を実施しています。4職種会議で共有することで、地域支援につなげています。
- イ. インフォーマルな地域資源について、地域包括支援センターと共同でフォーマットを作成しました。今後、地域資源情報を収集予定です。
- ウ. ケアプラザの広報紙やホームページを積極的に活用し、更新作業を行い、ケアプラザの事業や地域資源の情報の発信に努めています。また、新しく館内に掲示板を設け、貸室団体の活動を紹介しました。
- エ. 来館者には積極的に声をかけ、興味関心についての情報提供を心がけました。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ア. 貸室団体説明会の場で、ケアプラザの役割について周知、事業協力や特技を生かした社会貢献活動などの提案を実施。11団体から協力についての申し出を受け、実行することができました。事業やフェスティバルには、積極的に貸室団体や事業の参加者に協力を呼びかけ、充実した企画を実施することができました。
- イ. 広報紙を活用して、地域に向けてボランティア活動の場を紹介しました。

3 自主企画事業

- ア. 特別支援教育士の音楽療法による、発達に心配のある子どもと保護者への支援事業を6月から月1回実施しています。毎回新規の申し込みがあり、リピーターとなり、ニーズにあった支援が展開できました。
- イ. 子ども寺子屋では、老人クラブとの交流を複数回実施するなど、異世代交流に積極的に取り組みました。リニューアルした子育て広場や発達に心配のある子どもと保護者への支援事業でも、地域のシニアの方にボランティア登録していただくなど、複数の事業で異世代交流を実施しました。
- ウ. 子育て広場やミニデイでの貸室団体の特技を生かした事業協力、認知症サポーター養成講座での地域のキャラバンメイトや区民会議福祉分科会との連携、保健活動推進員との事業連携、貸室団体の活動を後方支援した連携事業、その他男性ボランティアなどの地域人材と連携して事業展開を行い、積極的な交流を図りました。
- エ. ほっとフレンズを開催する中で得た情報を生かし、放課後デイサービスでは得ら

れない、地域ケアプラザならではの事業展開に向け、余暇支援を検討しています。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ア. 男助っ人隊の自主化について提案を行いました。今後も自主化に向けての話し合いを継続していきます。
- イ. 自主事業や地域活動などを通して、シニア男性と積極的に交流し、ボランティア活動の場を広げました。
- ウ. 10月にシニアボランティアポイント登録研修会を実施、貸室団体や事業参加者にも幅広く声をかけ大勢の参加を得ました。近隣の施設にもボランティア活動の紹介をお願いし、当日多数の方が施設へ登録を行い、活動の場の提供につながりました。
- エ. 子育て広場では、地域の母親が手遊びやはぐくみ塾の活動発表、お弁当作りなど、子育てしながら自己実現できる場を提供しました。
- オ. わいわいフェスティバルでは、より大勢の地域人材・貸室団体を登用し、活動発表の場、地域のイベントとして主体的な参加につなげることができました。
- カ. 貸室登録団体説明会やボランティア感謝会では、視覚的に工夫を行い、活動の振り返りや交流を促進しました。
- キ. 広報紙を活用して、地域におけるボランティア活動の場を紹介しました。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

- ア. さまざまな相談に対応し、適切な支援や情報提供を行いました。特に坂の上に位置する明神台やケアプラザから距離のある星川三丁目や宮田町へは出張することによって、情報提供や相談が受けやすい場面設定をすることができました。
- イ. 町別の相談件数や内容から、課題を考察し、必要な情報提供ができるよう出前講座を行いました。
星川三丁目や明神台、宮田町では、認知症の正しい理解や認知症予防について実践を交えながら理解を深めてもらいました。町別の相談数や相談内容の分析は、次年度も考察を続けていきます。

地域包括支援ネットワークの構築

- ア. 担当地区の民生委員児童委員協議会へ毎回参加し、継続して顔のみえる関係づくりを構築しました。民生委員からの相談受付や、情報共有を図る事ができました。また地域ケア会議へ参加協力を得る事ができました。
- イ. 明神台サロンひだまりへ定期的に参加をして、介護予防の取組や相談対応を行いました。また星川三丁目のサロン立ち上げに対して、役員との話し合いや助言など後方支援を実施しました。地域のお祭りや行事に参加する事で、地域の方々へ地域ケアプラザの周知やネットワーク構築が図れました。
- ウ. 中央地区のあんしん訪問員研修を訪問時の対応、事例・介護保険制度など講義形式で実施。民生委員・あんしん訪問員・友愛活動訪問員と36名参加。アンケート結果より、事例など大変勉強になった。何かあった時は繋げると思うと、心強く安心できたと回答がありました。星川地区では地区社協主催のワールドカフェへ参加。見守りネットワークについて地域の方々と話し合いをする事ができました。

実態把握

- ア. 自治会・町内会等の催しへの参加、地域の活動拠点へ出向くこと、出前講座を行うことで、顔の見える関係作りをしました。知りえた情報はアセスメントシートへ集約しました。その中で、住民が必要と感じていることに対し、出前講座にて事業展開をすることができました。
- イ. 星川三丁目サロンはなみずきの立ち上げや次年度の定期開催に向けて、支援をしました。星川三丁目では、趣味活動が充実している反面、身体を動かす機会が少ないという実態を把握し、介護予防や体操のできる場面設定をしました。居場所作りを発展させるため定期開催できるよう、次年度に向けて支援を継続していきます。
相談ケースを通じ、川辺町住宅での住民同士による協働や居場所作りの必要性を把握しました。又、星川二丁目では居場所作りの必要性を民生委員も感じています。今後支援を行っていく予定です。

2 権利擁護

権利擁護

- ア. 星川一丁目ひまわりの会では、年1回開催している公開講座を平成28年2月と3月の2回に分け、成年後見制度の説明会やエンディングノートの活用による今後の備えや意識作りを内容に取り入れ、開催します。
介護者のつどいの中でも、介護者の立場での老い支度や終活についての大切さを考えてもらう機会を作りました。
星川二丁目ステージ星川では、前年度に成年後見制度の説明を行ったため、今年度は更なる今後の備えができるよう3回シリーズで講座を行いました。エンディングノート作成実技、葬儀やお墓のことを学ぶことで、終活に取り組みました。
- イ. 相談ケースや個別地域ケア会議の中で、成年後見制度の説明を行い、必要性の示唆をしました。ケアマネジャーから悪徳業者から詐欺被害に遭っている方の相談を受け、区長申し立てにつなげ、区と連携を図りました。
- ウ. 来館者にタイムリーな情報提供をするため、情報コーナーへ、国民生活センター発行の見守り新鮮情報を掲示し、詐欺や消費者被害について広く注意啓発をしました。
国勢調査やマイナンバー等に乗じた詐欺については、広報紙掲載やチラシを作成し、広く注意啓発を行いました。

高齢者虐待

- ア. 男性介護者のつどいは奇数月、ホッとする会は偶数月に開催しました。介護者がリフレッシュでき、同じ立場同士で労い、励まし合う機会を定期的に作る事ができ、虐待予防の普及啓発ができました。
合同で2回講座を行いました。1回目は介護者の立場として考える終活について、2回目は配食サービスについて勉強会を開催し、今後に備えられるような情報提供や意識づけをすることができました。
- イ. 中央地区あんしん訪問員研修会では、各地域で早期発見や見守り体制の強化ができるよう、訪問時の対応や気づきのポイントを説明しました。相談ケースの事例を通じ、気になるケースの情報共有を図ることの必要性も感じてもらうことができました。
単館開催のケアマネ連絡会では、顔つなぎを行い、虐待を未然に防げるよう連携を図ることの大切さを共有できました。
- ウ. 個別のケースについては、区のミーティング等で適宜、相談や報告、情報共有をして方向性の確認をしました。同行訪問も交えながら、経過観察を継続しました。

認知症

- ア. 認知症サポーター養成講座を地域ケアプラザで2回（4月・8月）に開催。アンケート結果より参加目的を確認すると、「会社の取組の一環として」「今後仕事で認知症の方と接する機会が多い為」などの回答あり。幅広く様々な人が参加できました。地域ケアプラザ開催以外にシルバー人材センター、貸館団体へ2回、平沼高校、帷子小学校で開催をしました。キャラバンメイトには（8月・10月・11月）の開催に際して協力をしてもらいました。
- イ. 星川地域ケアプラザ独自の事前登録ホルダーについて、岩間地区におけるワールドカフェの実施がありました。地域より作成したいとの意向を確認できました。次年度より事前登録ホルダー作成に向けた展開が図れる様、地域の方々と協働して行きます。認知症見守りネットワーク構築は、事前登録ホルダーと同時並行で推進をして行きます。

3 介護予防マネジメント

二次予防対象者把握

- ア. 介護予防事業や出前講座、個別相談の中で基本チェックリストを合計77件実施し、二次予防事業対象者へハマトレや口腔ケアを講話またはリーフレットを用いて指導しました。訪問型介護予防サービス利用はありませんでした。

介護予防ケアマネジメント力

- ア. 介護予防対象者（要支援）の担当者会議、事例検討会に参加し、介護予防の視点をケアプランへ反映させられるように支援しました。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ア. 中央地区民児協・星川地区民児協と四職種より一人は必ず参加。一人暮らし高齢者など、気になるケースの相談を受け付けたり、情報共有を図るなど連携強化に努めました。
- イ. 包括レベル地域ケア会議を自治会
・町内会単位でH28年2月に開催予定。民生委員・自治会役員が参加予定となっており、地域の方々とケアマネジャーの関係構築が図れる場を、設定する予定としております。

医療・介護の連携推進支援

- ア. エリア内の医療機関へ毎月広報紙を持参しました。また相談をしてもらえる体制構築の為、来院患者で気になる人はいませんかと記載した、事例記載をしたチラシを配布しました。
- イ. 常盤台地域ケアプラザと共催にて7月に多職種連携会議を実施。医師・薬剤師・歯科医師・ケアマネ・訪問介護・訪問看護・通所介護・福祉用具・社協・区役所と合計69名の参加がありました。参加者より顔の見える関係づくりができたなどの回答あり。また開催内容について良かったと9割以上の回答がありました。

ケアマネジャー支援

- ア. 3職種で連携をしてサービス担当者会議へ参加をしました。また、インフォーマル情報などを持参して積極的に事業所訪問を行いました。困難事例ケースなどの相談時には同行訪問を行い、問題解決に向けた支援を実施しました。
- イ. 区内主任ケアマネジャーと共催にて7月・8月・1月・3月を除く月に、合同ケアマネ連絡会を開催しました。また、新任ケアマネジャー向けに9月から12月まで4回コースで実施しました。
- ウ. ほどがやケアネットの役員会・研修に参加。開催場所の確保や提供を行いませんでした。
- エ. エリア内の居宅介護支援事業所を対象とした懇談会を10月に実施しました。H28年2月に包括レベル地域ケア会議と併せた、ケアマネ連絡会の実施を予定しております。自治会役員・民生委員との顔合わせ、今後の連携が図れる関係づくりの場として開催。地域資源の発見や、ケアプランに位置づけできる内容を開催します。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ア. 個別ケース地域ケア会議を、今年度は6回開催しました。毎回、医師や薬剤師など医療関係者の参加がありました。また民生委員や地域住民の参加をしてもらい実施ができました。
地域ケア会議開催に際して、区役所・社協・包括と開催前に事例提出者と事前打ち合わせを実施。また、開催後には事前打ち合わせと同じメンバーによる振り返りを実施しました。
- イ. 個別ケース地域ケア会議開催にともなう事例提供を依頼に際して、エリア内の居宅介護支援事業所へ地域ケア会議概要説明の訪問を実施しました。

介護予防事業

介護予防事業

- ア. 関わりが少なかった老人クラブ（星川三丁目、宮田町）にケアプラザ職員が参加し、ケアプラザやチューリップ体操を紹介し、介護予防の大切さを周知できました。
- イ. 地域住民、保健活動推進員やシルバー人材センター保土ヶ谷支部の方向けに、健康づくりや介護予防についての講話を行い、活動拠点の立ち上げのきっかけづくりを行いました。また、自主グループに研修や自主事業の案内をし、活動を支援しました。今後は、完全自主化できるように支援していきます。
- ウ. 区役所と連携し、明神台サロンひだまりをきらりシニア塾認定に導く事ができました。星川ノルディックは区内ケアプラザの合同事業として実施しました。コグニサイズを実施予定とし、介護予防の必要性を啓発していきます。今後は星川三丁目サロンはなみずきが認定されるように支援していきます。
- エ. 介護予防活動の推進が必要と考えられる地域である、宮田町や星川三丁目の老人会に出向くことができました。今後も関わりをもち、きらりシニア塾の立ち上げを支援していきます。
- オ. エリア内の介護予防に取り組む 老人クラブや地域の団体に対し、きらりシニア塾の認定制度について周知をしました。今後も認定に向けて周知を進めていきます。

平成27年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名: 横浜市星川地域ケアプラザ

平成27年4月1日～平成28年3月31日

(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護	認知症対応型通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	20,147	24,732	149					
	介護保険収入				zxs	22,497	67,965	7,191	44,528
	その他								
	外部委託分	0	0	0	4,142	0	0	0	0
	認定調査	0	0	0	0	637	0	0	0
	その他	0	60	0	0	0	6,569	0	38
	自販機手数料	0	0	0	0	0	64	0	0
収入合計(A)	20,147	24,792	149	4,142	23,134	74,534	7,191	44,566	
支出	人件費	10,915	22,603	0	4,131	20,200	51,316		23,223
	事務費	2,364	1,664	0	5,554	1,546	4,737		2,256
	事業費	390	764	149	40	38	6,679		2,744
	管理費	4,082	1,085	0	0	0	5,975		2,043
	その他								
	施設使用料相当額	0	0	0	0	0	2,834		1,156
	拠点区分間繰入	1,009	0	0	1,437	1,350	10,031		13,135
	外部委託分	0	0	0	4,142	0	0		0
その他	0	0	0	0	0	153		9	
支出合計(B)	18,760	26,116	149	15,304	23,134	81,725		44,566	
収支 (A) - (B)	1,387	-1,324	0	-11,162	0	0		0	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

※精算書をベースに作成してください。

平成27年度 自主事業収支報告書

【注】*1 区補助金事業利用のため、経費支出なし

【注】*2 貸室団体活動支援事業で、会計は団体にて管理。ケアプラザより経費支出なし

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
歌声ひろば	高齢者						
	362人						
	50	36,000	17,900	18,100	36,000	0	0
区内包括支援センター合同 事業ノルディックウォーキング	高齢者						
	96人						
	200	21,200	0	21,200	0	18,232	2,968
コグニサイズde認知症予防	高齢者						
	16人						
	0	15,560	0	0	15,000	0	560
社交ダンスde介護予防	高齢者						
	18人						
	0	0	0	0	0	0	0
五感を磨こう	高齢者						
	21人						
	0	15,000	0	0	15,000	0	0
川辺町住宅 ほっと倶楽部	高齢者						
	61人						
	0	0	0	0	0	0	0
川辺町 パークシティ横濱 出前講座	高齢者						
	37人						
	0	0	0	0	0	0	0
宮田町第一喜楽老人クラブ 出前講座	地域住民						
	19人						
	0	0	0	0	0	0	0
宮田町ラクラク会 老人クラブ出前講座	地域住民						
	32人						
	0	0	0	0	0	0	0
宮田町町内会 出前講座	地域住民						
	20人						
	0	0	0	0	0	0	0
星川一丁目 ひまわりの会出前講座	高齢者						
	259人						
	0	0	0	0	0	0	0
星川二丁目 ステージ星川出前講座	高齢者						
	36人						
	0	0	0	0	0	0	0
星川三丁目サロン はなみずき出前講座	地域住民						
	38人						
	0	0	0	0	0	0	0
星川三丁目星友会老人クラ ブ出前講座	地域住民						
	22人						
	0	0	0	0	0	0	0

平成27年度 自主事業収支報告書

明神台サロンひだまり 出前講座	高齢者							
	272人							
	0	0	0	0	0	0	0	0
明神台ひまわりクラブ 出前講座	地域住民							
	18人							
	0	0	0	0	0	0	0	0
明神台明寿会 出前講座	地域住民							
	41人							
	0	0	0	0	0	0	0	0
ダンディーズ 介護予防グ ループ支援	高齢者							
	56人							
	0	0	0	0	0	0	0	0
ほどがや区民まつり 介護予防ブース	高齢者							
	200人							
	0	0	0	0	0	0	0	0
シルバー人材センター 出前講座	高齢者							
	26人							
	0	0	0	0	0	0	0	0
岩間・中央地区保健活動員 向け認知症予防についての 出前講座	保健活動推進員							
	22人							
	0	0	0	0	0	0	0	0
サロンほしかわ	地域住民							
	1,416人							
	0~200	95,661	3,761	91,900	0	39,661	56,000	
シニア体操	高齢者							
	1,484人							
	0	0	0	0	0	0	0	
子育て広場	乳幼児と保護者							
	243人							
	原則0	2,392	2,392	0	0	2,392	0	
かるがも☆こころのリズム教室	乳幼児と保護者							
	157人							
	0	100,000	0	0	100,000	0	0	
ミニデイ	高齢者							
	277人							
	600	148,924	12,124	136,800	0	148,324	600	
子ども寺子屋	小学生							
	330人							
	0	4,996	0	0	0	4,996	0	
リンパマッサージ&ストレッチ	地域住民							
	76人							
	300	33,756	12,156	21,600	31,180	0	2,576	
ボランティア感謝会&交流会	ボランティア							
	105人							
	0	46,858	46,858	0	0	32,848	14,010	
横浜市星川地域ケアプラザ 貸室登録団体利用説明会	地域住民							
	44団体49名							
	0	0	0	0	0	0	0	

平成27年度 自主事業収支報告書

夏だ！プールに行こう！	乳幼児と保護者						
	88人						
	50	5,958	4,508	1,450	0	1,702	4,256
ほっとフレンズ2015なつ (フレンドサポート事業より支出)	障がい児						
	37人						
	500	0	0	0	0	0	0
子育てひろばのクリスマス会	乳幼児						
	55人						
	600	12,092	692	11,400	5,000	7,092	0
かるがもクリスマスコンサート	地域住民						
	53人						
	500	17,497	1,997	15,500	0	17,497	0
ほっしいーのわいわいフェスティバル	地域住民						
	750人						
	50～200	278,513	176,613	101,900	5,000	129,306	144,207
『出張サンタ～サンタが街にやってくる！？～』	乳幼児と保護者						
	83人						
	0	0	0	0	0	0	0
区民まつりの事業参加	地域住民						
	350人						
	0	390	390	0	0	390	0
岩間地区福祉のつどい	地域住民						
	330人						
	0	0	0	0	0	0	0
本・おもちゃの貸し出し	地域住民						
	90人						
	0	0	0	0	0	0	0
中央地区配食ボランティア＊2	高齢者						
	560人						
	300	0	0	0	0	0	0
男助っ人隊	地域住民						
	438人						
	0	0	0	0	0	0	0
認知症サポーター養成講座	地域住民						
	259人						
	0	0	0	0	0	0	0
シニアボランティアポイント登録研修会	地域住民						
	32人						
	0	0	0	0	0	0	0
みんなで作ろうクリスマスの飾り＊2	地域住民						
	35人						
	500	0	0	0	0	0	0
認知症介護を考える座談会	地域住民						
	19人						
	0	0	0	0	0	0	0
親子でフラダンス＊1	障がい児						
	18人						
	200	0	0	0	0	0	0
春のフラワーアレンジメント＊2	地域住民						
	3人						
	1200	0	0	0	0	0	0
調理室清掃・ボランティア大作戦！！	貸室調理室利用団体						
	14人						
	0	0	0	0	0	0	0
ウォーキング講座	地域住民						
	26人						
	100	2,984	984	2,000	0	0	2,984
ほっとフレンズ2016春＊1	障がい児						
	71人						
	500	0	0	0	0	0	0
鬼の出張	乳幼児と保護者						
	81人						
	0	0	0	0	0	0	0
男性介護者のつどい	介護者						
	19人						
	0	0	0	0	0	0	0

平成27年度 自主事業収支報告書

男性介護者のつどい ホッとする会 合同介護者のつどい	介護者	0	618	618	0	0	0	618
	20人							
ホッとする会	介護者	0	0	0	0	0	0	0
	14人							

平成27年度 自主事業報告書

横浜市星川地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声ひろば	<p>【目的】参加者同士の交流を通して、体操や歌を歌うことで心身機能の低下を防止し、介護予防につなげる。</p> <p>【内容】体操や唱歌や懐かしの歌謡曲を歌った。</p>	毎月第3水曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
区内包括支援センター合同事業 ノルディックウォーキング	<p>【目的】区内地域包括支援センターの合同事業として、ノルディックウォーキングの活動をする愛好者たちの交流の場の提供、およびノルディックウォーキングの普及啓発を行う。参加者同士の交流を通して、介護予防を普及啓発を行う。</p> <p>【内容】ノルディックウォーキングの愛好者たちの有志が企画から参加した。当日はノルディックウォーキングの愛好者グループの紹介を行い、初心者コース、ゆったりコース、しっかりコースに分かれ、保土ヶ谷公園を参加者で歩いた。ベテランの愛好者が、初心者コース参加者にウォーキング方法を教示した。</p>	10月23日（金） 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コグニサイズde 認知症予防	<p>【目的】地域住民に対して、頭と身体を動かすコグニサイズを行い、認知症予防を図る。参加者同士の交流をもつことで、所属感、仲間意識をもってもらい、閉じこもり予防を図る。</p> <p>【内容】講師を招き、自宅でも行えるよう脳を活性化させるコグニサイズを実施した。</p>	3月10日（金） 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
社交ダンスde介 護予防	<p>【目的】地域住民に対して、頭と身体を動かす社交ダンスを行うことで、認知機能を活性化させ、認知症予防を図る。参加者同士の交流をもつことで、所属感、仲間意識をもってもらい、閉じこもり予防を図る。</p> <p>【内容】社交ダンスの講師を招き、社交ダンスを行うことで、認知機能を活性化させ、認知症予防を図った。参加者同士の交流、所属感、仲間意識をもつ機会となった。</p>	1月29日（金） 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
五感を磨こう	<p>【目的】地域高齢者に対して、健康・体力づくりの普及啓発を行う。参加者同士の交流を図る。</p> <p>【内容】五感教育の講師による指導のもと、身体を動かし、葉と楊枝、花を使い、人形を作ったり、歌を歌い参加者同士が笑い合える時間を過ごした。</p>	11月12日（木） 1回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川辺町住宅 ほっと倶楽部	<p>【目的】川辺町市営住宅住民に対して、健康づくりの必要性、介護予防していく大切さを周知する。自主活動団体が活動を継続できるよう支援していく。</p> <p>【内容】川辺町市営住宅住民に対し、疾病予防、介護予防に関して情報提供を行った。体操や脳トレ要素のあるレクリエーションを実施した。</p>	5月～3月 計5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川辺町 パークシティ横濱 出前講座	<p>【目的】パークシティ横濱の住民に対して、認知症予防・介護予防の必要性を周知する。地域ケアプラザ・地域包括支援センターの周知を行い、最寄りの相談機関の提示をし、早期発見ができるような連携作りをする。</p> <p>【内容】認知症の基本的知識、その予防についての講話を行った。地域ケアプラザ・地域包括支援センターの周知を行い、最寄りの相談機関の提示をした。介護予防についての情報提供を行った。</p>	4月4日（土） 11月28日（土） 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
宮田町 第一喜楽老人ク ラブ 出前講座	<p>【目的】地域住民に対して、地域ケアプラザ・地域包括支援センターの周知を行い、最寄りの相談機関の提示をし、早期発見ができるような連携作りをする。健康づくりや介護予防、権利擁護について等の様々な情報提供を行い、注意啓発活動を行う。</p> <p>【内容】地域高齢者に対し、地域ケアプラザ・地域包括支援センターの周知を行い、最寄りの相談機関の提示をした。介護予防、権利擁護について等の様々な情報提供、注意啓発活動を行った。</p>	10月30日（金） 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
宮田町 ラクラク会 老人クラブ 出前講座	<p>【目的】地域住民に対して、地域ケアプラザ・地域包括支援センターの周知を行い、最寄りの相談機関の提示をし、早期発見ができるような連携作りをする。健康づくりや介護予防、権利擁護について等の様々な情報提供を行い、注意啓発活動を行う。</p> <p>【内容】認知症の基本的な病態を説明し、その予防となる脳トレや座位姿勢でできる体操を行った。流行りの詐欺についての注意啓発を行った。</p>	11月13日（金） 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
宮田町町内会 出前講座	<p>【目的】地域高齢者に対して、健康増進や介護予防の必要性を周知する。認知症や高齢者の権利擁護に関する情報提供をする。</p> <p>【内容】認知症の基本的知識、その予防についての講話を行った。流行りの詐欺についての注意啓発を行った。体操講師を依頼し、タオルを使ったストレッチや肩こり予防体操、骨盤底筋・脳トレ要素のある体操を行った。</p>	11月30日（月） 1回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
星川一丁目 ひまわりの会 出前講座	<p>【目的】 地域高齢者に対して、健康増進や介護予防の必要性を普及啓発する。高齢者の権利擁護に関する情報提供し、注意啓発する。</p> <p>【内容】 地域高齢者に対し、栄養士や薬剤師に講師依頼し、アンチエイジングな食事、高齢者に多い疾患の薬について、転倒予防の片付け術、インフルエンザ予防やノロウイルス予防についての講話を実施した。成年後見制度や任意後見制度についての講座を開催した。脳トレを継続的に実施した。</p>	4～3月 毎月 (第1水曜日) 計9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
星川二丁目 ステージ星川 出前講座	<p>【目的】 ステージ星川の住民に対し、住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるようエンディングノートの等を通し、地域のつながりの大切さを知るきっかけをもってもらおう。地域の総合相談窓口として地域ケアプラザを周知する。</p> <p>【内容】 ステージ星川に住んでいる高齢者を対象に、講師を招き、3回連続で①エンディングノートの書き方②最近のお墓事情③葬儀についての講座を開催した。講座後に、包括職員から、認知症サポーター養成講座や自主事業や地域ケアプラザの役割について案内、周知した。</p>	10月20日 (火) 11月17日 (火) 12月15日 (火) 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
星川三丁目 サロンはなみずき 出前講座	<p>【目的】 地域高齢者に対して、健康増進や介護予防の必要性を周知する。活動の担い手が自主的に活動を継続できるように支援する。</p> <p>【内容】 認知症の基本的知識、その予防についての講話を行った。流行りの詐欺についての注意啓発を行った。担い手にハマトレやコグニサイズの研修案内をし、地域活動において共に脳トレを行った。</p>	7月29日 (水) 11月19日 (木) 3月24日 (木) 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
星川三丁目 星友会老人クラブ 出前講座	<p>【目的】 地域高齢者に対して、健康増進や介護予防の必要性を周知する。住民の意識が高まり、自主的な活動を継続できるように支援する。</p> <p>【内容】 認知症についての基本的事項説明し、その予防となる脳トレや座位姿勢でできる体操を行った。流行りの詐欺についての注意啓発を行った。</p>	12月15日 (火) 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
明神台サロンひだまり 出前講座	<p>【目的】 地域高齢者に対して、健康増進や介護予防、権利擁護に関して情報提供、啓発をする。地域活動団体が自主的に活動を継続できるように支援していく。</p> <p>【内容】 地域高齢者に対し、疾病予防、介護予防、権利擁護に関して情報提供を行った。体操や脳トレを実施した。</p>	4～3月 計12回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
明神台 ひまわりクラブ 出前講座	<p>【目的】 地域住民に対して、地域ケアプラザ・地域包括支援センターの周知を行い、最寄りの相談機関の提示をし、早期発見ができるような連携作りをする。健康づくりや介護予防の啓発活動を行う。</p> <p>【内容】 地域高齢者に対し、地域ケアプラザ・地域包括支援センターの業務の案内をした。体力測定を実施し、健康づくりの大切さを啓発した。</p>	4月16日（木） 1月21日（木） 計2回
明神台明寿会 出前講座	<p>【目的】 地域高齢者に対して、認知症予防・権利擁護について普及啓発し、流行の詐欺について注意啓発を行う。</p> <p>【内容】 地域高齢者に対し、認知症の基本的な病態、予防についての講話を行った。流行りの詐欺についての注意啓発を行った。</p>	11月23日（月） 1回
ダンディーズ 介護予防グルー プ支援	<p>【目的】 ダンディーズの参加に対して、健康づくりの必要性、介護予防していく大切さを周知する。自主活動団体が活動を継続できるよう支援していく。</p> <p>【内容】 体力測定を実施し、個別に結果評価し、体操を継続していくことの必要性を周知した。</p>	5月9日（土） 8月8日（土） 11月14日（土） 1月23日（土） 計4回
ほどがや区民ま つり介護予防 ブース	<p>【目的】 地域高齢者に対して、ロコモ予防について普及周知する。地域ケアプラザ・地域包括支援センターの周知をする。</p> <p>【内容】 ロコモチェックを行い、ロコモーショントレーニングを実施した。地域ケアプラザの自主事業の案内を行った。</p>	10月17日（土） 1回
シルバー人材セ ンター出前講座	<p>【目的】 シルバー人材センターの会員が認知症について理解することで活動に役立たせることができる。自身の健康を維持できるよう生活習慣を見直すことができる。</p> <p>【内容】 シルバー人材センター会員向けに認知症サポーター養成講座を開催した。自身の健康を維持できるように生活習慣を見直してもらえよう食事や運動についての講話を行った。</p>	11月24日（火） 計1回
岩間・中央地区 保健活動推進員 向け 認知症予防につ いての出前講座	<p>【目的】 岩間・中央区保健活動推進員に対して、認知症やその予防法を説明し、活動に役立ててもらおう。</p> <p>【内容】 認知症についての病態の基礎知識、予防方法について講話を行った。</p>	8月1日（土） 1回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロンほしかわ	<p>【目的】 地域の子どもから高齢者まで、あらゆる世代を対象とし、閉じこもり防止を目的に、仲間作り、生きがい作りの提供を行う。異世代交流の場とすることで、趣味を通じた仲間作りをすすめ、地域の助け合いの輪がひろがるよう、地域ケアプラザの機能を発揮する。</p> <p>【内容】 コーナーを設けて、カラオケ・川柳・習字・ちぎり絵・折り紙等を実施。</p>	毎週火曜日 計46回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニア体操	<p>【目的】 地域のシニア世代を対象とし、在宅生活を健康で過ごすための介護予防として、体操教室を実施している。</p> <p>【内容】 転倒骨折予防教室OB と共催で体操教室を開催し、第1・3（火）は三期会、第2・4（火）はハッピー会が運営し、セラバンド・ボール運動や「はまちゃん体操」、「チューリップ体操」等を実施。</p>	毎週火曜日 計46回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て広場	<p>【目的】 未就園児とその保護者を対象とした子育て支援の一環として実施する。育児におかれる様々な専門機関と連携し、身近な子育て情報の提供を行い、育児不安の軽減を図る。また、地域の身近な場所でおばあちゃん世代のボランティアに参加してもらうことで、世代を超えた交流の場を作り、今後において地域活動へ参加するきっかけとなる場、地域福祉に関心をもつきっかけとなる場を提供することを目的とする。</p> <p>【内容】 布おもちゃ製作ボランティアグループ「ちくちく」の手作りおもちゃを活用した親子のつどいの広場。毎回テーマを設け、貸室団体や子育て支援連絡会等地域ボランティアと連携したプログラムを実施した。</p>	毎月第3金曜日 計9回 (8月12月休み)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かるがも☆こころのリズム教室	<p>【目的】 子どもの発達に不安のある保護者の育児支援。音や音楽を通して、子どもの5つの感覚の発達を促す。遊びを通して、子どもとの向き合い方を学ぶ。</p> <p>【内容】 特別支援教育士による音と音楽遊びと子育て相談を実施した。子どもの発達に不安を持った保護者が、個別具体的に相談できる機会として、また同じ悩みを持った保護者が交流できるよい機会となった。</p>	毎月第1金曜日 計10回 (6月開始)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ミニデイ	<p>【目的】 要支援・要介護者になる前の高齢者を対象として、外出の機会を設け、お互いの交流の場とし、仲間づくりを支援。</p> <p>【内容】 楽器演奏や絵手紙など貸室登録団体の特技を生かしたレクリエーションと、ヘルスメイト手作りによる健康に留意した食事を楽しんだ。ケアプラザからは、時宜に応じて、健康づくりや消費生活情報等を提供した。</p>	毎月第4水曜日 計10回 (8月12月を除く)

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子ども寺子屋	<p>【目的】地域のシニアボランティアの協力により、異世代交流とともに、地域の歴史や文化に親しむ機会を作り、他者へのおもいやりの心を育てていく。はまっこふれあいスクールでも、学童クラブでもない、小学生の放課後の居場所。地域の大人が一緒になって子どもたちを育てるネットワークを作り、地域コミュニティの活性化につなげる。</p> <p>【内容】学校の宿題のあと、シニアボランティアを初めとした地域の人材を活用しての異世代交流を実施。また、経験を生かして、デイサービスの夏祭りのお手伝いやほっしーのわいわいフェスティバルで寸劇などの活動を行った。</p>	毎月2～3回程度の 水曜日 計29回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
リンパマッサージ&ストレッチ	<p>【目的】在宅生活を健康にすごしていくために、体操教室を実施する。地域の高齢者に外出の機会を提供、閉じこもりを予防し、また更年期などで体の変調に不安を感じている中高年、子育て中の母親など、広く地域住民を対象とする。</p> <p>【内容】講師による全身の血流をよくするためのリンパマッサージの指導の他、ストレッチを実施して介護予防、健康作りにつなげた。</p>	6月13日（土） 7月10日（金） 10月9日（金） 2月27日（土） 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝会&交流会	<p>【目的】星川地域ケアプラザで活動している多くのボランティアに感謝の意を表するとともに、他のボランティアと交流することで、情報交換や出会いの場を提供し、活動に広がりを持ったり、悩みの共有や問題解決の助けとする。</p> <p>【内容】個人と団体にわけて実施。ボランティアの活動発表と職員紹介。後半は、グループワークを実施した。</p>	5月29日（金） 3月24日（木） 計4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
横浜市星川地域ケアプラザ貸室登録団体利用説明会	<p>【目的】日頃から横浜市星川地域ケアプラザの貸室を利用している方に、地域ケアプラザの貸室ルールや意見交換の場として実施。今回の交流会をきっかけにニーズの把握や利用団体が福祉保健団体へ結び付けることができるように働きかける。</p> <p>【内容】貸室の利用上のルールの改正、災害時の避難路等説明。またボランティア活動について、特技を生かした活動の場を情報提供した。</p>	7月6日（月） 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏だ！プールに行こう！	<p>【目的】10ヶ月から3歳以下の未就学児とその保護者を対象とした子育て支援の一環として実施。地域の身近な場所で日常的な交流の場を作り、緑のカーテンを作り、地域の親子にのびのびとプールを楽しんでもらう。</p> <p>【内容】2階多目的ホール外のベランダにビニールプールを数か所設置し、プールを開催した。子ども寺子屋で育てたミニトマトの収穫もでき、緑とふれあう機会を提供できた。</p>	7月17日（金） 7月23日（木） 7月31日（金） 8月5日（水） 8月13日（木） 8月21日（金） 計6回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとフレンズ 2015なつ	<p>【目的】①普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。</p> <p>②障がい児にとって普段係わる機会の少ない、同年代の学生ボランティアと一緒に活動するという経験を通じて、社会性・協調性を育む場を提供する。</p> <p>③障がいに理解のある地域のボランティア・学生ボランティアの育成を図る。</p> <p>④関係諸学校及び団体と協力関係を深め、区内の地域ケアプラザが、障がい児支援における地域ネットワークの一員となるように断続的に努める。</p> <p>本事業の周知、報告及び地域のボランティア募集等を通じて、地域の方々に障がい福祉に対する理解をより深めていただく機会とする。</p> <p>【内容】ほっとフレンズ実行委員会での共同開催。保土ヶ谷区内に在住・在学の養護学校の小学生～高校生を対象に室内プログラムの余暇支援を実施。事前にボランティア説明を設け、障がいの理解を深め、当日ペアとなる子どもの情報を共有した。当日は、横浜市岩崎地域ケアプラザを会場に「夏祭り」を実施し、各種プログラムを楽しんでもらった。</p>	7月28日（火） 8月2日（日） 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てひろばの クリスマス会	<p>【目的】未就園児とその保護者を対象とした子育て支援の一環として実施する。育児における様々な専門機関と連携し、身近な子育て情報の提供を行い、育児不安の軽減を図ります。また、地域の身近な場所・日常的な交流の場で、定年後の男性グループの方や布おもちゃ製作グループちくちくと一体となったイベントを開催することで福祉活動の理解を図る。</p> <p>【内容】親子交流プログラム。ゲストによる絵本や音楽遊び、工作を楽しんだあと、男性ボランティアのサンタが登場し、ちくちく製作のプレゼントを配布、サンタとの写真撮影を実施。</p>	12月18日（金） 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かるがもクリスマスコンサート	<p>【目的】地域の子どもから高齢者までの異世代交流を通じて支え合い、住民同士が顔の見える関係づくりを目的として実施する。地域の福祉保健活動の拠点としての場と機能を活かし、あらゆる機会を捉えて支援に繋げる内容を積極的に取り入れる。また、この行事を実施することで、地域ケアプラザが住民にとって身近で親しみやすい施設となることを目的としている。</p> <p>【内容】貸室登録団体を中心に様々な演奏者が出演し、クリスマスコンサートを開催。第1部はフルートでクリスマスの雰囲気、第2部は参加者とともに社交ダンス、第3部は大正琴の演奏でお正月の雰囲気作りをした。</p>	12月22日（火） 1回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっしいーのわいわいフェスティバル	<p>【目的】 地域ケアプラザの機能理解を深く地域に浸透できる機会とし、横浜市在住の子どもから高齢者、障害者の支えあい、安心安全なまちづくりをテーマとしたイベント内容を積極的に取り入れる。その中で、子育て中の方やこれから子どもを持つようとする方をはじめ、保土ケ谷区民に区内の子育て・次世代育成支援の情報を提供することを目的の一つとして開催。</p> <p>【内容】 かるがも駐車場で模擬店、資源循環局のミニゴーカート、かるがも1階ダイルームでコンサート、ラウンジでの福祉バザー、2階は、健康チェックコーナー、子育て支援連絡会主催による親子のひろば等を実施。</p>	11月7日（日） 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
『出張サンタ～サンタが街にやってくる！？～』	<p>【目的】 地域ケアプラザに関する男性のボランティア活動として出張サンタクロースを実施。エリア内の子育て支援団体・サークルと連携し、横浜市星川地域ケアプラザが参加することで、顔の見える関係づくりを図る。そして、ケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解していただき今後の福祉保健活動へとつなげる。</p> <p>【内容】 男性ボランティアによるサンタが、子育てグループのクリスマス会や、子育て支援施設に出張し、保護者の代わりにプレゼントを渡して、親子の思いで作りに貢献した。</p>	12月24日（木） 5箇所

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
区民まつりの事業参加	<p>【目的】 区民が多数来場する「区民まつり」に区内すべてのケアプラザの担当職員が参加することで、顔の見える関係づくりを図る。そして、ケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解していただき今後の福祉保健活動へとつなげる。</p> <p>【内容】 7ケアプラザ合同事業として、地域活動交流担当でケアプラザの紹介や住民との交流活動を実施。また介護予防ブースに区高齢障害支援課保健師、区内包括保健師職が合同で、健康づくり・介護予防の普及啓発として、パネル展示や事業紹介を行う。</p>	10月17日（土） 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
岩間地区福祉のつどい「ミニ運動会」への参加	<p>【目的】 エリア内の地域イベントに横浜市星川地域ケアプラザが参加することで、顔の見える関係づくりを図る。そして、ケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解していただき今後の福祉保健活動へとつなげる。</p> <p>【内容】 岩間地区社会福祉協議会主催の事業・福祉のつどい実行委員会のメンバーとして参加。星川地区、岩間地区の住民を対象とした交流事業として運動会を実施。各種プログラムの他、ケアプラザからはブルーライトヨコハマ体操を提供した。</p>	11月1日（日） 1回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
本・おもちゃの貸し出し	<p>【目的】 地域特性を考慮し、ニーズにあった事業を実施することで、ケアプラザの利用を促進する。</p> <p>【内容】 星川地域ケアプラザ1階ラウンジに設けた本や布おもちゃの貸し出しを実施。</p>	開館日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
中央地区配食ボランティア	<p>【目的】 「住民誰もが安心して暮らせるまち」「高齢になっても障害をもってもいきいきと過ごせるまち」を中央地区の福祉保健活動を実施している団体、グループ、個人等が共に考え、作り上げていく活動。そして、それぞれの活動の推進とともに、課題の共有から地域課題に向けて取り組み支えあいの地域づくりの発展を目指している。</p> <p>【内容】 中央地区配食ボランティア主催による、月1回の手作り弁当を夕食に配達。ケアプラザは活動場所、周知、利用者の一部への電話かけを行い、活動を支援。</p>	毎月第3水曜日 計11回（8月休み）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男助っ人隊	<p>【目的】 メンバーのこれまでの経験を活かしてボランティア活動をし、仲間作り・いきがいを図る。</p> <p>【内容】 地域の高齢者世帯の日常生活の困りごとの解決と福祉施設の特別行事の支援を行う。星川地域ケアプラザは活動への助言や実施場所の提供・連絡を担った。</p>	毎月第2土曜日、 6月20日（土） 9月19日（土） 12月19日（土） 3月19日（土） 計29回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	<p>【目的】 認知症サポーター養成講座を開催し、認知症について正しい知識をもち、認知症の人や家族を応援し、だれもが暮らしやすい地域をつくっていけるよう講座を開催する。</p> <p>【内容】 ケアプラザ内外にて講座を実施。認知症の種類、症状、行動、認知症の人の気持ちと接し方、サポーターの役割等を伝え、認知症の理解を広げ地域啓発を行った。キャラバンメイトによる寸劇など、地域住民との連携の機会ともなった。</p>	4月25日（土） 6月23日（火） 8月29日（土） 10月9日（金） 10月15日（木） 10月24日（土） 12月7日（月） 1月28日（木） 2月12日（金） 計9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニアボランティアポイント登録研修会	<p>【目的】 地域の元気な高齢者に地域貢献活動の機会を提供し、いきがい・交流につなげ、共助の意識を高める。また、地域の福祉施設にシニアボランティアポイントの周知をし、ボランティア獲得の手段として活用してもらう。</p> <p>【内容】 よこはまシニアボランティアポイントのテキストにそって、事業の概要、ボランティアについて、活動の留意点等講習。登録後の活動場所の提供として、近隣の保土ヶ谷区子育て支援拠点こっころやケアプラザデイサービス、地域交流事業について説明を行い、施設のボランティア登録にもつなげることができた。</p>	10月1日（木） 1回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで作ろう クリスマスの飾り	<p>【目的】貸室団体の活動の支援。園芸を使った多世代交流によって、高齢者の介護予防を考える。高齢者と子育て世代との交流。</p> <p>【内容】貸室団体の活動支援のため子育て世代シニア世代の異世代交流を兼ねて、製作を実施。二人一組で、子育て世代とシニア世代を組み合わせる配置に。保育にかかるがもキッズを手配し、ケアプラザのおもちゃや母親が持参したおもちゃ等で対応。子どもたちも落ち着いており、母親がクリスマスの飾り製作に専念することができた。</p>	12月11日(金) 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症介護を考える座談会	<p>【目的】認知症についての理解を深め、支援者を地域に広げていく。意識ある地域住民と連携し、認知症本人や家族を支える仕組みを構築していくための足がかりを目指す。</p> <p>【内容】8月に開催した認知症サポーター養成講座の参加者の中で、地域で自分のできることをしたいと表明してくれた方と共に、当事者・家族の支援として地域で何ができるかを検討。第1回には、認知症の家族を介護している家族の話聞き、2回目で支援の形をさぐった。</p>	1月31日(日) 3月19日(土) 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でフラダンス	<p>【目的】①普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。 ②障がい児にとって普段係わる機会の少ない、同年代の学生ボランティアと一緒に活動するという経験を通じて、社会性・協調性を育む場を提供する。 ③障がい児に理解のある地域のボランティア・学生ボランティアの育成を図る。 ④関係諸学校及び団体と協力関係を深め、区内の地域ケアプラザが、障がい児支援における地域ネットワークの一員となるように断続的に努める。 本事業の周知、報告及び地域のボランティア募集等を通じて、地域の方々に障がい福祉に対する理解をより深めていただく機会とする。</p> <p>【内容】近隣の4施設と共催。貸室団体の協力を得て、親子でふれあう機会を提供した。 車いすの参加者が半数、全員男子であったが、母親と一緒にフラダンスを楽しんだ。ダンスのあとはお茶会で交流。保護者同士がメールアドレスを交換したり、講師の活動について問い合わせをするなど、積極的な交流ができた。</p>	2月14日(日) 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
春のフラワーアレンジメント	<p>【目的】貸室団体の活動の支援。構成人数が減ってしまった団体の活動をアピールすることで、仲間作りの支援をする。また、サロンほしかわ内に単発のコーナーを設けることで、ケアプラザ事業の周知を図り、交流の機会を提供する。</p> <p>【内容】アーティフィシャルフラワーをつかった、オリジナルリース作りを実施。</p>	平成28年3月8日 (火) 1回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
調理室清掃・ボランティア大作戦！！	<p>【目的】 ケアプラザは地域の共有財産であるということの意識づけのきっかけにする。油汚れや手垢など、通常の清掃では清潔を保つのが難しい調理室を、「みんなの施設みんなできれいに」を合言葉に、貸室利用団体の協力を募ってそうじすることで、施設利用の仕方や、関わりを意識してもらおう。</p> <p>【内容】 午前、午後に分かれて、大掃除を実施。始めに作業内容の説明と自己紹介を行う。</p> <p>続いて、調理室に移動、大掃除実施。動線を加味し、グループごとに担当箇所を掃除してもらおう。掃除のあとは、ふりかえりで反省会実施。貸室団体に共有のため、実施報告のお知らせを各部屋に掲示、地域版広報紙に掲載した。</p>	3月5日（土） 午前・午後 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ウォーキング講座	<p>【目的】 ・地域住民の健康作り、介護予防の一助とする。 ・新規参加者、特に男性が参加できる機会を提供し、今までケアプラザを利用する機会がなかった方の利用につなげる。</p> <p>【内容】 講師より、「ほどウォーク」パンフレットを使用して、ウォーキングの効果や注意点を説明。器具を利用して筋肉をほぐした後、筋肉を効果的に使うストレッチを実施。姿勢を意識した歩き方、整理体操。</p>	3月30日（水） 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとフレンズ 2016春	<p>【目的】</p> <p>①普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。</p> <p>②障がい児にとって普段係わる機会の少ない、同年代の学生ボランティアと一緒に活動するという経験を通じて、社会性・協調性を育む場を提供する。</p> <p>③障がい理解のある地域のボランティア・学生ボランティアの育成を図る。</p> <p>④関係諸学校及び団体と協力関係を深め、区内の地域ケアプラザが、障がい児支援における地域ネットワークの一員となるように断続的に努める。</p> <p>本事業の周知、報告及び地域のボランティア募集等を通じて、地域の方々に障がい福祉に対する理解をより深めていただく機会とする。</p> <p>【内容】 ほっとフレンズ実行委員会での共同開催。保土ヶ谷区内に在住・在学の養護学校の小学生～高校生を対象に室内プログラムの余暇支援を実施。事前にボランティア説明を設け、障がいの理解を深め、当日ペアとなる子どもの情報を共有した。当日は、横浜市川島地域ケアプラザを会場にお祭りを実施し、各種プログラムを楽しんでもらった。</p>	3月24日（木） 3月27日（日） 計2回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
鬼の出張	<p>【目的】 地域ケアプラザに登録する男性ボランティアが鬼に扮し、施設外ボランティアで節分イベントに協力します。当施設の機能理解を図ることや男性の社会参加の場を提供することで地域活動の活性化を図ります。</p> <p>【内容】 男性ボランティアによる鬼の出張。「鬼は外！」と大きな声を出し、体を使っての遊びが提供できた。サンタに比べて泣かれる率の高い出張だが、子どもたちの触れ合いを楽しむ機会となっている。</p>	2月4日（金） 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性介護者のつどい	<p>【目的】 男性介護者が同じ立場の方同士で交流をもつことで、介護に関する悩みの共有や、前向きに介護ができるよう情報交換を行う。日頃の介護のストレスを解消できる機会を目的に開催。</p> <p>【内容】 5月：介護者状況や困り事に対する話合い 7月：講義 脱水について 9月：健康チェック・懇談会 1月：講義 介護保険制度の状況と情報提供について 3月：今年度の振り返りと次年度の予定について</p>	5月27日（水） 7月29日（水） 9月30日（水） 1月27日（水） 3月30日（水） 奇数月開催 計5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性介護者のつどい ホッとする会 合同介護者のつどい	<p>【目的】 男性介護者のつどい・ホッとする会と共催にて、開催内容が共通して有益な内容をテーマとして実施。介護者のつどい登録者以外でも、参加をしてもらい勉強の場として開催。</p> <p>【内容】 6月：成年後見制度と終活について エンディングノート演習 11月：配食サービス事業所の特色など説明 試食会</p>	6月26日（金） 11月25日（水） 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ホッとする会	<p>【目的】 介護者という同じ立場同士でできる日頃の悩みや想いを共有する場作り。リラックスした雰囲気や気心知れた仲間と話す中で、ストレスや介護負担の軽減を図ることを目的に開催。</p> <p>【内容】 かるがも1階喫茶クレヨンやケアプラザ館内で茶話会を実施。近況を話す中で悩みや想いを受け止め労う会となった。</p>	4月24日（金） 8月28日（金） 10月23日（金） 12月18日（金） 2月26日（金） 偶数月開催 計5回